

第2号議案

2008年度事業報告

1. 学術集会，学術講演会等の開催
2. 学会誌その他の刊行物の発行
3. 学会認定医等の認定
4. 研究の奨励及び研究業績の表彰
5. 研究及び調査の実施
6. 関連学術団体との連絡及び協力
7. 国際的な研究協力の推進
8. 普及啓発活動
9. その他目的を達成するために必要な事業

1. 学術集会、学術講演会等の開催

1) 年次学術集会

第55回学術集会（会長：土肥 修司）として2008年6月12日（木）～6月14日（土），場所：パシフィコ横浜．テーマ：「麻酔科学の過去・現在・近未来：学術の進歩と新しい麻酔科医療の展開」．参加者数は，7319名，一般講演1226題，特別講演・招待講演12題，教育講演19題，シンポジウム7題，PBLD5題を企画し，行った．また，国際学会「Trauma Care 2008」を併設した．

第56回学術集会（会長：森田 潔）として2009年5月22日（金）～5月24日（日）神戸ポートピアホテル・国際展示場で開催予定．メインテーマ「晴れの心．明日の麻酔科学へ．」，サブテーマ「麻酔科学・臨床への融合」．

2) 支部の学術集会

各支部で合計8回の学術集会を開催した．

- ・ 第56回北海道地区学術集会（主催：岩崎 寛） 2008年9月13日（土） 北海道大学医学部臨床講堂
- ・ 第65回東北地区学術集会（主催：西川 俊昭） 2008年9月13日（土） ALVE（アルヴェ）
- ・ 第48回関東甲信越・東京支部合同学術集会（主催：大江 容子） 2008年9月20日（土） セルリアンタワー東急ホテル
- ・ 東海・北陸支部第6回学術集会（主催：鈴木 照） 2008年9月13日（土）
じゅうろくプラザ/岐阜市産業交流センター
- ・ 第54回関西支部学術集会（主催：真下 節） 2008年9月6日（土） 大阪国際会議場
- ・ 第45回中国四国支部学術集会（主催：長櫓 巧） 2008年9月20日（土） 愛媛県県民文化会館
- ・ 第46回九州支部学術集会（主催：比嘉 和夫） 2008年9月27日（土） 福岡大学

3) 教育講演の開催

第7回リフレッシュャーコースとして2008年6月14日（土），パシフィコ横浜で開催した．

2. 学会誌その他の刊行物の発行

1) 学会誌

「Journal of Anesthesia」誌を季刊で4号（Vol.22-No.2～Vol.23-No.1）を発行した．

2) 準学会誌

「麻酔」誌を月間で12号（Vol.56-No.4～Vol.57-No.3）を発行した．

3) 学会ニューズレター

社団法人日本麻酔科学会ニューズレターを季刊で4号（Vol.16-No.2～Vol.17-No.1）を発行した．

4) 学術集会抄録およびプログラム

社団法人日本麻酔科学会第55回学術集会プログラム・抄録集を発行した．

5) 会員名簿および年次報告

2008年度会員名簿および年次報告をホームページに掲載した．

6) 教育講演テキスト

2009年開催の第8回リフレッシュャーコーステキストを発行した．

3. 学会認定医等の認定

1) 認定医等の新規認定, 資格試験の実施

<新規認定医>

2008年度は、標榜医の審査時期にあわせて、2008年4月・7月・10月・2009年1月の計4回認定審査を行い、2008年度新規認定認定医審査合格者数は294名となった。

第1回申請者：114名	合格者：114名（2008年4月1日認定）
第2回申請者：66名	合格者：66名（2008年7月1日認定）
第3回申請者：77名	合格者：77名（2008年10月1日認定）
第4回申請者：37名	合格者：37名（2009年1月1日認定）

<新規専門医>

2008年10月1日～3日、神戸ポートピアホテルで第47回麻酔科専門医認定試験が実施された。2008年度新規認定専門医試験合格者数は321名となった。

旧制度口頭・実技	受験者数：26名	合格者：24名	合格率：92%
新制度3科目（筆記・口頭・実技）	受験者数：356名	合格者：272名	合格率：76.6%
		実地試験対象者：1名	（→実地試験の結果合格）

新制度筆記	受験者数：10名	合格者：2名	合格率：20%
口頭	受験者数：5名	合格者：5名	合格率：100%
実技	受験者数：16名	合格者：15名	合格率：94%
筆記・実技	受験者数：1名	合格者：1名	合格率：100%
口頭・実技	受験者数：1名	合格者：1名	合格率：100%

<新規指導医>

2008年10月28日、事務局で2008年度麻酔科指導医新規認定の審査会が開催された。麻酔科指導医新規認定者は267名（うち2007年度専門医更新対象者201名）となった。

<新規認定病院>

2008年度は、申請状況に応じて4回認定審査を行い、2007年度新規認定病院数は62施設となった。

第1回申請施設：18施設	合格施設：18施設
第2回申請施設：18施設	合格施設：18施設
第3回申請施設：21施設	合格施設：21施設
第4回申請施設：5施設	合格施設：5施設

2) 認定医等の資格更新審査

2009年2月2日、事務局で2008年度麻酔科専門医更新予定者の審査会が開催され、麻酔科専門医更新予定者は180名となった。また2009年2月9日麻酔科認定医更新申請者の審査会が開催され、認定医更新予定者は8名となった。

専門医更新申請者：451名	認定者：180名
特例申請者：33名	
不認定者：3名（取消2名、認定医更新1名）	
資格喪失者：36名（辞退者（未提出者も含む）28名、認定医更新8名）	
指導医不合格者による専門医更新申請者：2名	認定者：2名

<認定病院更新>

2009年2月9日、2006年度麻酔科認定病院更新申請施設の審査会が開催された。麻酔科認定病院更新申請施設は79施設であり、75施設の認定となった。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰

社団法人日本麻酔科学会学会賞4賞（山村記念賞・青洲賞・若手奨励賞・社会賞）の2008年度受賞予定者の選考を行い、以下のとおり決定した。

1) 山村記念賞

松田 直之(京都大学医学部附属病院救急部・准教授)

「敗血症病態における転写因子nuclear factor- κ Bの機能解析」

2) 青洲賞

斉藤 祐司(幸手総合病院 麻酔科・部長)

「糖尿病・高脂血症患者における筋弛緩モニタリング」

3) 若手奨励賞

(基礎)

石関 淳子(群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科・助教)

「Amnestic concentrations of sevoflurane inhibit synaptic plasticity of hippocampal CA1 neurons through GABAergic mechanisms」

(臨床)

村田 寛明(長崎大学医学部・歯学部附属病院手術部・助教)

「三次元CTによる胸部硬膜外穿刺の難易度の評価」

4) 社会賞

該当者なし

5. 研究及び調査の実施

1) 麻酔関連偶発症例調査

偶発症例調査2007(2007.1.1~2007.12.31):麻酔科認定病院1,092施設を対象に行い、795施設から回答があり、回収率73%であった。麻酔台帳からの提出は271施設(34%)、紙での提出は524施設(66%)であった。また、麻酔関連薬剤の投与に関するインシデント調査2007を実施。

2008年度は、アンケート調査を認定病院1116件に送付した。回答数は639件で、回収率は約57.2%であった。

2) 麻酔関連機器故障情報調査

麻酔関連機器で故障が発生した場合、あるいは規格自体に問題がある機器に関して常時窓口を設け、ホームページを通じて常に情報を収集し、即時にフィードバックした。

3) 麻酔薬および関連薬品等の適正使用に関する調査

医薬品適正使用ガイドライン第3版の作成、適応外の薬剤の要望、薬物乱用者の回復に向けた対応策

を検討した。

4) 麻酔関連機器 JIS 規格に関する検討

ISO Anaesthetic and respiratory equipment —Vocabulary の和訳について引き続き検討した。
JIS 規格の見直し調査について検討した。

5) Closed Claims Project の推進と研究

団体契約を結んでいる保険会社から得たデータ分析し、予防策を普及した。
普及策として、『医療訴訟ゼロを目指して』という冊子を作成した。

6) 周術期肺血栓塞栓症発症例調査

わが国における周術期肺血栓塞栓症の発生状況、予防法、治療法等に関して現状を把握するために、日本麻酔科学会認定病院 1,092 施設において、2007 年の周術期肺血栓塞栓症（以下 PTE）に関するアンケート調査を行なった。結果として、643 施設から回答（59%）があり、296 例の周術期 PTE 発症を認めた。母集団を麻酔科管理件数（1,150,783 件）で除すると、2007 年周術期 PTE 発症頻度は 2.57 人（1 万症例対）であった。結果についてはホームページに掲載済みである。

2008 年度は、アンケート調査を認定病院 1,116 件に送付した。回答数は 639 件で、回収率は約 57% であった。

7) 吸入麻酔薬による全身麻酔中の局所への血管収縮剤（エピネフリン）の使用状況ならびに偶発症発生に関する調査

局所麻酔薬（以下局麻薬）の添付文書が今年 1 月に改訂され、エピネフリン含有（添加を含む）局麻薬をハロタン等ハロゲン含有吸入麻酔薬と併用することが従来「併用注意」であったのが、「禁忌」扱いとなった。これに関連して「吸入麻酔薬による全身麻酔中の局所への血管収縮剤（エピネフリン）の使用状況ならびに偶発症発生に関する」アンケートを行った。

6. 関連学術団体との連絡及び協力

1) 登録・派遣

日本学術会議、日本医師会、日本医学会、厚生労働省医道審議会標榜医審査会、日本専門医認定制度機構、大学評価・学位授与機構、日本外科学会、外科系医学会社会保険委員会連合、外科関連協議会、日本救急医療財団、日本蘇生協議会、3 学会合同呼吸療法士認定委員会、医療機能評価機構、骨髄移植推進財団等に委員を派遣し、各々の目的と事業に合わせ連携・協力予定。

2) 各種学術集会協賛・後援

日本学術会議シンポジウム、日本臨床麻酔学会市民公開講座、社団法人日本 ME 学会 ME 技術講習会・検定、財団法人日本救急医療財団「救急の日 2008」等、バイオメディカルファジィシステム学会学術集会等、関連協力団体の学術集会および講習会、市民公開講座等を協賛・後援した。

7. 国際的な研究協力の推進

1) WFSA（世界麻酔学会連合）

理事および各種委員会委員を派遣した。

2) WFSA アジア・オーストラレーシア支部（AARS）

President（花岡一雄氏）、Treasurer（稲田英一氏）を派遣した。2010 年日本大会開催準備のために AACA 実行委員会を設置し、具体的な事業計画を立案した。

3) 海外留学奨励

2008年度海外からの留学希望者を通年に渡り募集した。

4) アジアン・シンポジウム

2008年度アジアン・シンポジウムの実施、2009年度開催のアジアン・シンポジウムの企画立案、運営を行った。

8. 普及啓発活動

各支部学術集会開催時あるいは10月13日「麻酔の日」近辺の日程で、「麻酔」をテーマに計7回の市民公開講座を開催し、正しい麻酔科学と医療の普及啓発を行った。また、麻酔資料館の企画を行い、2009年度開設準備を行った。

9. その他目的を達成するために必要な事業

各種委員会活動を通じて事業目的を達成した。各委員会とも事業内容によって、実務を執行する専門部会を組織し、積極的な事業展開に努めた。詳細は各委員会議事録を参照。

1) 総務委員会

本年度は、中期・長期計画の作成、診療報酬についての対応、公益法人化に向けての準備・情報収集、麻酔台帳の麻酔モニター機器メーカーとの提携、女性医師キャリア推進のための提言作成、周術期管理チーム推進事業、心肺蘇生法のあり方を検討した。その他、代議員選任選挙、理事選任選挙、理事長予備選挙、監事選任選挙、副会長選任選挙、学会内部の総務、事務局内の総務に関わる事項も審議・執行した。一昨年度からの懸案事項であった新システム導入については、会員管理、認定制度、学術集会抄録作成システム等の要件定義を議論し、外部設計の段階に入っている。学術集会事前登録システムのみは2009年3月1日より導入し、今後は、クレジット決済以外の決済システムの開発を行う。

将来構想専門部会では、中期・長期計画、短期計画の確認を行った。

社会保険専門部会では、平成21年度診療報酬改定に向けて改訂案の検討、厚生労働省、外保連への要望、折衝を行った。また、会員からの診療報酬に関する質問の対応、学術集会時のシンポジウムを行った。

麻酔台帳ワーキンググループは、自動麻酔記録装置を開発している5社に依頼し自動的に麻酔台帳にデータが取り込めるシステムを各社で開発を依頼した。

女性医師キャリア推進ワーキンググループでは、女性医師のキャリアを推進するための提言について検討した。

周術期管理チーム検討ワーキンググループでは、手術室内で診療行為にかかわる多職種（外科系医師、麻酔科医、看護師、薬剤師、臨床工学技士等）がチームとして機能するためにはそれぞれの役割分担について議論し、認定病院で実際チーム構想について受け入れ可能かどうか調査した。また昨年度に引き続き第2回周術期セミナーを開催するための準備を行った。

事故調査に関するワーキンググループは、2007年10月に厚生労働省より、“診療行為に関連した死亡の死因究明等の在り方に関する試案（第3次試案）”が公表されたのを受け、市民公開講演会を開催した。

2008年度選挙については、代議員選任選挙、理事選任選挙、理事長予備選挙、監事選任選挙、副会長選出選挙を実施した。

2) 財務委員会

予算・決算に関する事項、資産の管理・運営に関する事項、各種事業費に関する事項、その他財務に関する事項について協議、答申、執行する。予算書・決算書、貸借対象表・財産目録・正味財産増減計

算書の作成，事業費・管理費のバランスおよび支部会計収支計算書と事業報告のチェック，基金・引当金の設定と管理を行う。特別会計の学術集會会計，各支部会計に関する連結決算・予算表を作成する。公益社団法人の会計基準，税金対策について周知徹底する。

3) 学術委員会

学術委員会では，機関誌の編集・発行に関する事項，学術集會の運営に関する事項，麻酔科学用語に関する事項，学会賞に関する事項等を中心課題として協議，答申，執行する。各事項の調査，審議は内容に応じて専門部会に付託する。

機関紙専門部会では，*Journal of Anesthesia* の引用を増やすため，昨年度に引き続き JA シンポジウムの企画運営，学術集會実行委員会では，学術集會の運営の方針，今後の学術集會プログラムの作成テーマの検討を行った。学術集會実行委員会は，学術集會プログラム企画専門部会と学術集會運営専門部会を持つ。学術集會プログラム企画専門部会は第 56 回学術集會のプログラムの作成を行った。9つの分野のワーキンググループを作成し演者の選出，プログラムの検討，選定を行った。学術集會運営専門部会は，第 56 回学術集會の当日運営の方法等を議論した。

4) 倫理委員会

倫理委員会では，禁煙推進学術ネットワークへの加盟，利益相反について検討した。

5) 教育委員会

教育委員会では，認定制度実施に伴う問題点の整備，教育ガイドライン改訂版完成，第 7 回リフレッシュャーコースの実施，第 8 回リフレッシュャーコースの立案等を行った。認定制度実施にあたって問題点が多くなってきたため，5 年後実施を目途に見直しを行うこととした。

認定審査委員会は認定医，専門医（第 47 回専門医認定試験実施），指導医，認定病院の審査，認定を行った。

6) 安全委員会

安全委員会では，麻酔関連のリスクマネジメントに関する事項について協議，答申執行した。委員会は各ワーキンググループの相互の事業内容をトータルに把握し，国民のためのよりよい安全な医療を提供することを目標とした。医療安全における問題の所在をあきらかにするために全国規模の実態調査を実施し，医療現場に向けた現状のアナウンスおよび改善・防止策のフィードバックを行った。データベース（統計調査）事業では，麻酔偶発症例調査，肺塞栓アンケートの実施・回収・解析，CCP (Closed Claims Project) 報告書の検討を行った。ハード（機器）関連対策事業では，麻酔器の保守点検，定期点検の法律化の周知徹底，機器故障情報提供のホームページによる公表を行った。ソフト（手技）関連対策事業では，必要なガイドライン，安全な中心静脈カテーテル挿入・管理のための手引き 2009 の作成，医師賠償責任保険のあり方について検討した。薬剤関連事業では，麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン改定第 3 版の検討，適正薬剤乱用防止施策の検討（ポスター改訂版作成，薬剤依存症に関する相談内容の検討），医薬品の保険適応要望を行った。以上 4 つの事業への取組みにあたっては，6 つのワーキンググループ（偶発症例調査ワーキンググループ，麻酔機器安全対策ワーキンググループ，肺血拴塞栓症ワーキンググループ，CCP ワーキンググループ，麻酔手技における事故防止対策調査ワーキンググループ，医薬品適正評価ワーキンググループ）を組織し事業を振り分けた。

7) 国際交流委員会

国際交流委員会では，国外の諸団体との交流を促進する目的に沿って事業を行い，AACA2010 に向けてアジア諸国との交流をはかるため，第 55 回学術集會時にアジア・シンポジウム，Trauma care2008 を開催した。AACA2010 については，プログラム作成委員会の開催，広報活動を行った。

8) 関連領域検討委員会

関連領域検討委員会は、麻酔科医の活躍の場として、関連する領域を紹介し麻酔科医のフィールドの広さを多くの医師、学生に周知し、かつまた学会としてよりよい業務環境を整える目的に沿って事業を行う事を目指している。本年度は、第 55 回学術集会（横浜）において小児麻酔、心臓麻酔を加えたこれら関連する 7 つ領域について、各領域での現状、問題点を挙げシンポジウム形式で公表した。

また昨年、麻酔科専門医の新規認定試験について、受験日から遡る過去 5 年以内の AHA-ACLS プロバイダーコースの受講終了を受験必須資格項目とすることを提案し、理事会で承認を得た。2010 年度の実施を実現するためにワーキンググループ(WG)を作成し計画を策定した。

以下は各領域の報告である。

- a. 救急医療・心肺蘇生法専門部会では、下記の日程で会員を中心としたコース受講機会の拡大を目途として開催した。また、次年度からの専門医、指導医への AHA-ACLS プロバイダーコース必須化に向けて検討した。会員よりパブリックコメントを募集するなどして、最終的に専門医新規申請、再認定のみ必須化となった。

○AHA-BLS プロバイダーコース（計 8 回開催）

開催日：2008 年 6 月 14 日(土)、7 月 12 日(土)、8 月 9 日(土)、9 月 13 日(土)、10 月 11 日(土)、
11 月 22 日(土)、12 月 13 日(土)、2009 年 3 月 14 日(土)

開催場所：レールダルメディカルジャパン株式会社トレーニングセンター
パシフィコ横浜（2008 年 6 月 14 日）

日本麻酔科学会東京事務局にて開催（2009 年 3 月 14 日）

○AHA-BLS,ACLS 理事コース

開催日：2008 年 5 月 10 日(土)、11 日(日)

開催場所：レールダルメディカルジャパン株式会社トレーニングセンター

- b. 集中治療領域WGでは、学術集会時に集中治療を紹介した。また、集中治療に従事する麻酔科医の実態調査を調査し、ICU の教育ガイドラインの見直しを検討した。
- c. ペインクリニック領域WGでは、学術集会におけるペインクリニック領域の紹介、麻酔科領域におけるペインクリニックの分野のあり方について実態調査を行い検討した。
- d. 緩和医療領域WGでは、麻酔科医による緩和医療教育への関与に関する実態調査ならびに、日本緩和医療学会に牽引的麻酔科医の人材育成について検討した。
- e. 産科麻酔領域WGでは、分娩取り扱い施設についてのアンケートを実施し、産科麻酔診療の実態が明らかになり、マンパワー要請を厚生労働省へ提出した。また、学会設立や 2011 年の日本麻酔科学会学術集会で米国産科麻酔学会(SOAP)とのジョイントについて検討した。
- f. 小児麻酔領域WGでは、小児麻酔の教育・研修について、また、研修・教育環境についての再度のアンケートを行い、その検討がなされた。
- g. 心臓血管麻酔領域WGでは、ガイドラインの見直し、また心臓血管麻酔専門医と麻酔専門医の相違点について検討がなされた。

9) 広報委員会

広報委員会では、本年度は、第 55 回学術集会時、医学生、スーパーローテータ企画の実施、ニューズレターの編集・発行に関する事項を行った。麻酔資料館企画委員会との連携を諮り、麻酔の日に毎年行っていた新聞広告への寄附を博物館への費用に充てた。またホームページリニューアル WG を作成しよりよい広報活動を行うための方針を検討した。

10) 支部管理委員会

支部管理委員会は、今年度活動を行わなかった。

1 1) 麻酔博物館企画委員会

麻酔博物館企画委員会では、2009年の資料館開館に向けて、会員から麻酔に関する機器、器具、書類の収集を募り、最終的な展示物を検討した。また、博物館開館に向けて今後の方針を検討した。

以 上

第2号議案

社団法人日本麻醉科学会 2008年度支部事業報告

1. 北 海 道 ・ 東 北 支 部
2. 関 東 ・ 甲 信 越 支 部
3. 東 京 支 部
4. 東 海 ・ 北 陸 支 部
5. 関 西 支 部
6. 中 国 ・ 四 国 支 部
7. 九 州 支 部

2008年度(社)日本麻酔科学会 北海道・東北支部事業報告

総会

- ◆ 2008年度第1回(社)日本麻酔科学会北海道・東北支部総会
 - ・ 日時:2008年6月11日(水)
 - ・ 場所:パシフィコ横浜会議センター

理事会

- ◆ 2008年度第1回(社)日本麻酔科学会北海道・東北支部理事会
 - ・ 日時:2008年6月11日(水)
 - ・ 場所:パシフィコ横浜会議センター
- ◆ 2008年度第2回(社)日本麻酔科学会北海道・東北支部理事会(持回り審議)
 - ・ 日時:2008年7月7日(月)
 - ・ FAXにて回答

運営委員会

- ◆ 2008年度第1回(社)日本麻酔科学会北海道・東北支部理事会
 - ・ 日時:2009年12月7日(日)
 - ・ 場所:日本麻酔科学会東京事務局

セミナー

- ◆ 初期研修医麻酔科学セミナー、麻酔科(医局)説明会
 - ・ 日時:2008年7月5日(土)、6日(日)
 - ・ 場所:かでの2.7
 - ・ セミナー参加者:約30名

その他

- ◆ 2008年4月5日(土) 2007年度北海道・東北支部会計監査
- ◆ 2008年6月11日(水) 支部名誉会員推戴式

年次学術集会

- ◆ 日本麻酔科学会北海道・東北支部第56回北海道麻酔科学会
 - ・ 日時:2008年9月13日(土)
 - ・ 場所:北海道大学医学部臨床大講堂
 - ・ 抄録集発行部数:700部
 - ・
- ◆ 日本麻酔科学会北海道東北支部第65回東北地方会
 - ・ 日時:2008年9月13日(土)
 - ・ 場所:秋田拠点センター「アルヴェ」
 - ・ 抄録集発行部数:700部
 - ・ 参加人数:144名

ACLS講習会

- ◆ 北海道地区
 - ・ 日時:2009年2月15日(日)
 - ・ 場所:札幌医科大学交流会館
 - ・ 参加人数:45名
- ◆ 東北地区
 - ・ 日時:2008年9月14日(日)、15日(月)
 - ・ 場所:秋田拠点センター「アルヴェ」
 - ・ 参加人数:4名

普及活動

- ◆ 北海道地区市民公開講座
 - ・ 日時:2009年2月14日(土)
 - ・ 場所:札幌医科大学交流会館
 - ・ 講師:角地幸先生(東海大学八王子病院)
 - ・ テーマ:日本におけるACLS活動の歴史
 - ・ 参加人数:約150名
- ◆ 東北地区市民公開講座
 - ・ 日時:2008年9月13日(土)
 - ・ 場所:秋田拠点センター「アルヴェ」
 - ・ 講師:高崎真弓先生
 - ・ テーマ:痛みの文化史
 - ・ 参加人数:50人

その他

- ◆ 2008年4月5日(土) 2007年度北海道・東北支部会計監査
- ◆ 2008年6月11日(水) 支部名誉会員推戴式

2008 年度関東甲信越支部事業報告

支部総会・理事会

- ・ 6月11日 支部理事会
- ・ 6月11日 支部総会
場所 パシフィコ横浜 会議センター
- ・ 9月19日 支部合同運営委員会開催
- ・ 9月19日 支部合同代議員会開催

支部運営委員会

- ・ 12月7日 第1回東京・関東甲信越支部運営委員会
場所 日本麻酔科学会東京事務局

学術集会

東京・関東甲信越支部学術集会

会長名：大江 容子（東邦大学）

日 時：2008年9月20日（土）

場 所：セルリアンタワー東急ホテル

テーマ：未来に向けて新風を

参加人数： 計 653名 （会員 593・非会員 29・名誉会員 5・研修医・学生 43
その他 13)

市民公開講座

日時：2008年9月20日（土）

テーマ：女性のあり方：変わりゆく時代とパートナーシップ（見城美枝子）

参加人数：100名

2008年度東京支部事業報告

支部総会・理事会

- ・ 6月11日 支部理事会
- ・ 6月11日 支部総会
場所 パシフィコ横浜 会議センター
- ・ 9月19日 支部合同運営委員会開催
- ・ 9月19日 支部合同代議員会開催

支部運営委員会

- ・ 12月5日 第1回東京・関東甲信越支部運営委員会
場所 日本麻酔科学会東京事務局

学術集会

東京・関東甲信越支部学術集会

会長名：大江 容子（東邦大学）

日時：2008年9月20日（土）

場所：セルリアンタワー東急ホテル

テーマ：未来に向けて新風を

参加人数： 計 653名 （会員 593・非会員 29・名誉会員 5・研修医・学生 43
その他 13)

市民公開講座

日時：2008年9月20日（土）

テーマ：女性のあり方：変わりゆく時代とパートナーシップ（見城美枝子）

参加人数：100名

2008年度 社団法人日本麻酔科学会 東海・北陸支部事業報告

【支部運営委員会・支部代議員会】

- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会東海・北陸支部理事会
日時:2008年6月11日(水)
場所:パシフィコ横浜
- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会東海・北陸支部総会
日時:2008年6月11日(水)
場所:パシフィコ横浜
- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会東海・北陸支部運営委員会
日時:2008年9月12日(金)
場所:ホテルアソシア名古屋ターミナルホテル
- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会東海・北陸支部代議員会
日時:2008年9月13日(土)
場所:じゅうろくプラザ/岐阜市産業交流センター
- ・ 2008年度第2回社団法人日本麻酔科学会東海・北陸支部運営委員会
日時:2009年1月17日
場所:ホテルアソシア名古屋ターミナルホテル

【年次学術集会】

- ・ 第6回日本麻酔科学会東海・北陸支部学術集会
会長 :鈴木照(総合大雄会病院)
日時 :2008年9月13日(土)
場所 :じゅうろくプラザ/岐阜市産業交流センター
(学術集会抄録集の発行部数:500部)
テーマ :安全を求めて
参加人数 : 334名

【普及啓発活動】

- ・ ACLS講習会
日時:2008年9月20日(土)・21日(日)
場所:愛知医科大学
- ・ 市民公開講座
日時:2008年9月20日(土)
場所:名古屋大学医学部中央診療棟3階講堂
テーマ:「安心して手術を受けられるために一麻酔科医の果たす役割」
参加人数: 31名

2008年度(社)日本麻酔科学会関西支部事業報告

支部役員会・支部総会

- ・ 5月12日(月)・・・支部役員会
- ・ 5月31日(土)・・・支部社員総会

支部運営委員会・代議員会

- ・ 8月・・・支部運営委員会(持ち回り審議)
- ・ 9月6日(土)・・・支部代議員会(大阪国際会議場)
- ・ 1月9日(金)・・・支部運営委員会(ホテル阪神)
- ・ 2月21日(土)・・・支部代議員会(マンスリー時)

症例検討会(マンスリー)

- ・ 5月31日(土)・・・場所:吉本ビル
- ・ 11月8日(土)・・・場所:桐杏学園
マンスリー後、学術講演会
- ・ 2月21日(土)・・・場所:桐杏学園

年次学術集会

- ◆ 日本麻酔科学会関西支部 第54回学術集会
- ・ 日時:2008年9月6日(土)
- ・ 場所:大阪国際会議場
- ・ 会長:真下 節
- ・ 参加人数:610名

BLS・ACLS講習会

- ・ 2008年8月30日(土)・31日(日) BLS ACLS 講習会
- ・ 2009年1月24日(土)・25日(日) AHA-ACLS コース
場所:和歌山県立医科大学
参加人数:20名

普及活動

市民公開講座

- ・ 日時:9月6日(土)
- ・ 場所:大阪国際会議場
- ・ テーマ:救急救命士の役割と気管挿管実習
- ①救急救命士の救命活動とはどんなもの?
- ②救急救命士の気管挿管について知っていますか?
- ・ 参加人数:47名

2008年度 社団法人日本麻酔科学会 中国・四国支部事業報告

【支部運営委員会・支部代議員会】

- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会中国・四国支部理事会
 - 日時:2008年6月11日(水)
 - 場所:パシフィコ横浜
- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会中国・四国支部総会
 - 日時:2008年6月11日(水)
 - 場所:パシフィコ横浜
- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会中国・四国支部運営委員会
 - 日時:2008年9月19日(金)
 - 場所:道後山の手ホテル
- ・ 2008年度第1回社団法人日本麻酔科学会中国・四国支部代議員会
 - 日時:2008年9月19日(金)
 - 場所:道後山の手ホテル
- ・ 2008年度第2回社団法人日本麻酔科学会中国・四国支部運営委員会
 - 日時:2008年1月17日
 - 場所:ホテルグランビア

【年次学術集会】

- ・ 第45回日本麻酔科学会中国・四国支部学術集会
 - 会長:長櫓巧(愛媛大学)
 - 日時:2008年9月20日(土)
 - 場所:愛媛県民文化会館
 - 参加人数:227名
 - (学術集会抄録集の発行(発行部数:1200部))

【普及啓発活動】

- ・ ACLS講習会
 - 日時:2008年9月27(土), 28日(日)
 - 場所:松精看護専門学校(松山市)
 - 参加人数:17名
- ・ 麻酔の日・市民公開講座の開催
 - 日時:2008年11月8日(土)
 - 場所:松山市男女共同参画推進センター(コムズ)(松山市)
 - 参加人数:71名

2008年度(社)日本麻酔科学会九州支部事業報告

【会計監査】

- ・ 4月 2007年度九州支部決算

【支部役員会・代議員会】

- ・ 2008年度第1回(社)日本麻酔科学会九州支部役員会
日時:2008年6月11日(水) 場所:パシフィコ横浜
- ・ (社)日本麻酔科学会九州支部第8回通常総会
日時:2008年6月11日(水) 場所:パシフィコ横浜
- ・ 2008年度第1回(社)日本麻酔科学会九州支部運営委員会
日時:2008年9月26日(金) 場所:TKP博多シティセンター「阿蘇1」
- ・ 2008年度第2回(社)日本麻酔科学会九州支部運営委員会
日時:2009年2月21日(土) 場所:福岡大学

【年次学術集会】

- ・ 九州麻酔科学会第46回学術集会 会長:比嘉 和夫 参加者数:445名
日時:2008年9月27日(土) 場所:福岡大学
学術集会抄録集の発行(発行部数:1450部)

【普及啓発活動】

- ・ 市民公開講座 参加者数:40名 日時:2008年9月27日(土) 場所:福岡大学

【国際的な研究協力の推進】

- ・ アジア・アフリカフォーラム 参加者数:30名 日時:2008年9月27日(土) 場所:福岡大学

【研究の奨励及び研究業績等の表彰】

- ・ 九州麻酔科学会賞 受賞者:瀬戸 綾子(新日鐵八幡記念病院)・鬼塚 信(宮崎大学)・川本 和彦(熊本機能病院)

【学術講演】

- ・ 九州麻酔科学会セミナー 会長:吉田 達彦 参加者数:87名 日時:2008年9月28日(日) 場所:福岡大学

【年報】

- ・ 10月 発行(1450部)

【研究及び調査の実施麻酔関連偶発症例調査の実施の呼びかけ】

- ・ 役員会にて随時アナウンス

【ACLS講習会】

- ・ 第1回 日時:2008年7月12,13日 場所:九州大学病院 受講者数:3名(内:学会員1名)
- ・ 第2回 日時:2009年1月24,25日 場所:九州大学病院 受講者数:18名(内:学会員14名)

【研究及び調査の実施麻酔関連偶発症例調査の実施の呼びかけ】

- ・ 役員会にて随時アナウンス

【関連学会との連帯及び協力】

日本蘇生学会第27回大会,日本心臓血管麻酔学会第13回,日本ペインクリニック学会第42回, Trauma Care 2008

【その他】

- ・ 支部決算・事業報告書作成
- ・ 支部予算・事業計画書作成
- ・ 九州支部会員メーリングリスト作成(登録希望者のみ)
- ・ ニュースレターへの支部事業案内(メーリングリスト登録希望者募集案内・ACLS案内)封入 2回
- ・ 九州麻酔科学会セミナー(2008年度)会長選考
- ・ 日本麻酔科学会HP内九州支部ページ作成
- ・ 九州麻酔科学会セミナー継続に関する審議(書面会議)